

天地鎔造化育論中卷

駿河 高田宜和 訓詁

佐藤信淵先生著

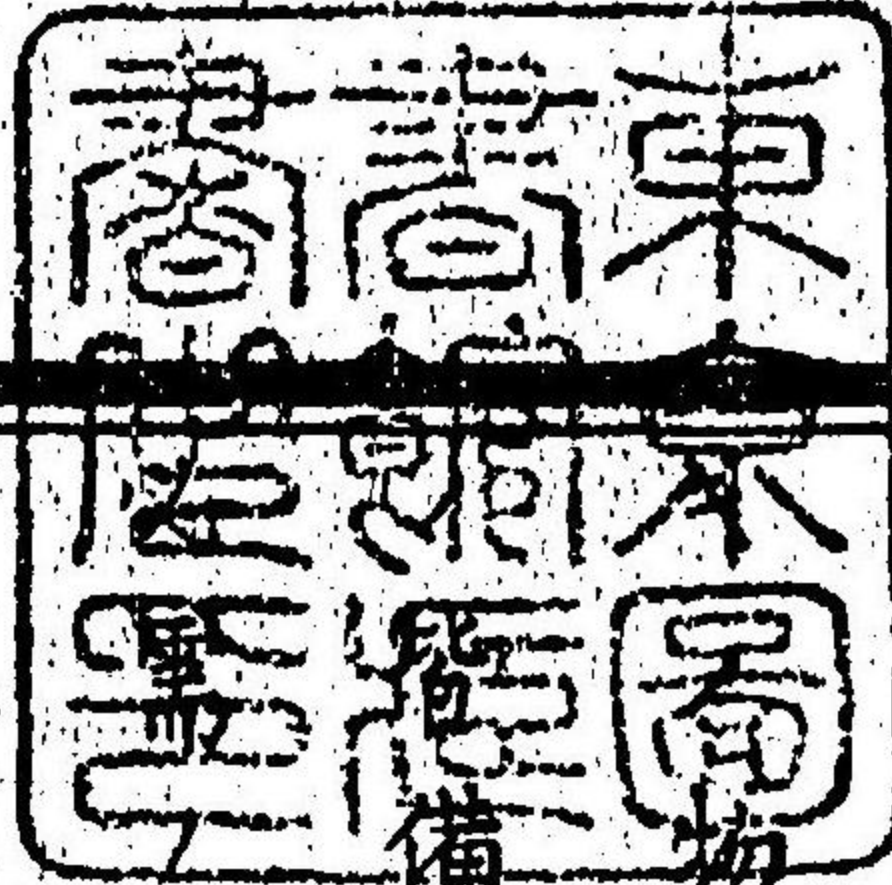
伊豆 萩原正平

相摸 福住正兄

校正

天地有リテ、然ノ後ニ萬物アリ、萬物有リテ然ノ後、
人類アリ、大地ハ人類ノ本處タリトイヘ、衣、食スヘ

無クハ、則以テ滋息ヲ為ス可ケムヤ、必ス萬物
備ルヲ需テ、然ノ後ニ世界タルヲ得ヘシ、故ニ
庶品、必ス地上ニ發育シ、萬物既ニ備リ、然ノ後
人類以テ蕃息スルヲ得ルナリ、且人生ル、ヤ欲ア



録述
リ、教ナケレハ、則亂ル、政ナケレハ、則争フ、故ニ必ス聰
明ヲ降シテ師ト為シ、君トナシ、而ノ焉ヲ維持保護ス、
予鎔造ノ靈機ヲ敬服シ、煦育ノ洪恩ヲ欣戴シ、竊ニ其
萬一二報セムトテ欲ス、故ニ此論ヲ著シテ以テ、産靈
ノ神理ヲ講シ、来者ノ為ニ、皇祖ノ大徳ヲ述ルナリ、蓋
大地ノ最初ハ、潮泥各半ナル者ナリ、然ルニ日輪ノ光
照之ヲ熬炙スルト、幾万年ト云フトテ知ラス、是ヲ以
テ温醸熱沸ノ、蒸發ノ氣、大地ノ周圍ニ薰リ満ルト、烟
霞ノ環ヲ作スカ如シ、之ヲ名ツケテ、薰圍トイフ、初メ
伊弉諾大神既ニ大地ヲ修リ玉ヒテ曰ク、我カ生メル

天
地
之
氣
ヲ
承
攝
シ、然メ後ニ、地上ニ徹透ス、其熱ノ強キ、翅ニ百
其レ大ナリ、大地既ニ薰圍ヲ發セシヨリ、以テ還、譬バ玻
璃ノ天火ヲ招クガ如ク、日光ノ炎燄、先ツ此玲瓏ノ氣
シムルノ主宰ナリ、夫薰圍ノ造化ニ係ルト、此ノ如ク
居常ニ萬物ヲメ、此ノ氣ヲ噉翕セシメテ以テ、蕃衍セ
薰圍ヲ噉翕ヒザレバ、悉ク消滅ス、又斯ノ級戸邊、神ハ
ハ、悉ク斯ノ大神ノ氣息ヲ噉翕メ、而メ生息ス、若此ノ
ハ、此大神ノ氣息ヲ含ムトテ、故ニ地上ニ發育スル者
神ト成ル、之ヲ級戸邊、神ト名ク、由テ知ル可シ、薰圍ニ
罔露氣アリテ、薰リ満テル哉ト、乃チ吹キ撥フ氣化メ

天地之氣

倍ノミナラガルナリ、九風、雷、雲、雨、霜、露、霞、霧等モ亦皆
 屬ス、蓋大地此氣ヲ發メ、然メ後ニ、土、水、火、風ノ四質以
 テ其氣質ヲ判ツトヲ得タルナリ、而メ薰園ノ大地ヲ
 環繞スルヤ、其高キト數千里ノ遠キニ至ル、故ニ日輪
 既ニ波スト云トモ、地平下二十度許ニ降ル間、尚ヨク
 物ノ象ヲ見ルトヲ得ル者ハ、上天此物ノ上端ヲ照ス
 ナリ、日出ノ前モ亦同シ、俗ニ之ヲ薄明ト名ツク、夫日
 輪ノ光炎赫灼トメ、大地ヲ^{カクガ}燃^{カクガ}揚ス是ニ於テヤ、四資ノ
 氣質千變萬化、混合凝結シ、以テ^{ハク}鹵^{ハク}鹽ヲ發出ス、鹵鹽ノ
 物ヲ成スヤ、甚奇ニメ且妙ナリ、釀煉悠久ニシテ、硬^ヒ脆^ク

ノ二質ヲ現シ、水ニ凝リ、土ニ結ビ、固結塊ヲ為ス、小塊
 ハ沙石、大塊ハ巖岩、其他万物モ亦皆二鹽ノ妙合ヨリ
 出ツルナリ、初ノ伊弉諾大神ノ斯大地ヲ修造シ玉フ
 ヤ、手ニ天瓊^{アマノノ}牙^ノヲ捧テ、而メ唱言スラク、鹽凝々焉ト、而
 ノ後ニ其牙ヲ指下シテ、輾轉シテ以テ之ヲ^{カク}攪^{カク}回シ、其
 既ニ結定スルニ及テ、其牙ヲ^{ツキ}衝^{ツキ}立、而メ地中ノ柱ト為
 シ、之ヲ天柱ノ本體ニ視立テ、以テ運動ノ^ク樞^ク軸トナシ
 タルナリ、故ニ此瓊^{アマノノ}牙^ノハ、即チ是天柱ノ分體ナリ、其物
 タルヤ、金鉄ヲ本體トナシ、瓊瑤ヲ外飾ト為ス、故ニ其
 金鉄ヤ、瓊瑤ヤ、泥土ヤ、潮水ヤ、漸ク混化^{カク}鑄^{カク}合シ、大地以

テ結定スルヲ得タリ、故ニ大地ノ凝固スル所以ハ、
 即チ鉄ヲ潮泥トノ鑄結スル所ニシテ、悉ク伊莽諾大
 神ノ鹽凝々ノ唱言ニ從フナリ、是ヲ以テ地中美王金
 鉄等ヲ含蓄スルモ、亦悉ク此ノ瓊牙發蒸ノ靈氣ヨリ
 出ツル者ナリ、故ニ鉄ヲ煉リ法ヲ行ヒ、以テ盤針ヲ製
 造スル所ハ、必ス南北ヲ指ス、其南北ヲ指ス者ハ、本物
 ニ從フナリ、凡分生スル者ハ、必ス其本物ノ正躰ニ從
 フ、盤針微物トイヘ、天柱ノ分身タレバ、則其南北ニ
 極ヲ貫串メ、而メ宇内ノ元運ニ樞軸スルノ正躰ニ從
 フ所以ナリ、

蕃夷ノ徒、盤針ノ理ヲ言ノ者アリトイヘ、天柱ニ
 極ヲ貫串メ、宇内運動ノ樞軸タルヲ知ラザルナ
 リ、夫天柱ノ神理ヲ知ラザレハ、則天地ノ全象ヲ知
 ルコトアタハズ、故ニ論スル所、漆桶掃帚、悉ク摸索
 ノ妄想ニ屬ス、氣吹屋翁、盤針ヲ以テ地柱ノ分身ト
 為ス、其義ヲ得タルが如シトイヘ、未ダ穩ナラズ、
 何トナレバ、地柱ハ大地私運ノ樞軸タリトイヘ、
 宇宙元運ノ樞軸ニ非ルナリ、故ニ大地ノ日輪ヲ回
 ル、春分ニ八日ノ西五十七度ニ在リ、秋分ニ八日
 東五十七度ニアリ、東西合セテ一百一十四度地上

ノ里法トイヘ氏之ヲ算スレバ幾ンド三千四百
里、況ヤ大地行環ノ廣大ナルニ於テヲヤ、西洋人迭
辣飛列、曰ク日輪大地中點ノ距離、五十八億四千万
里、是ニ由レバ則東西九百十六億八千万里、其春秋
ニ纏度ヲ移ス下此ノ如ク其レ遠シ、地柱南北正線
ト天柱南北正線ト、惡ンゾ傾斜ヲ發セサル下ヲ得
ムヤ、予別ニ究理論有リ、

大地生成ノ理之ヲ人躰ニ喻レバ、則瓊牙ハ之ガ神魂
為リ、巖石之ガ骨幹為リ、河海ハ諸液土壤ハ皮肉ニシ
テ骨肉既ニ成ル、火土ニ神歡喜妙合シ、豐受姬神ヲ生

之而ノ後ニ草木活物滋息繁衍シ、遂ニ今ノ世界ト成
レリ、是故ニ世界萬物皆是土水火風ノ化生ニノ、此四
資ノ外、別ニ世界萬物有ルニ非サルナリ、所謂四資ノ
精氣洋洋乎トノ世界ニ充滿シ、或ハ凝リ、或ハ散シ、或
ハ合シ、或ハ判レ、以テ万物ヲ發育ス、故ニ万物繁庶ナ
リトイヘ氏之ヲ大別スレハ、則土石、生植、活物ノ三種
ニノ、皆土水火風ノ凝合スル所ナリ、故ニ此三種ノ支
屬、億兆ノ品類アリトイヘ氏、而レ氏法ヲ行ヒ、氣質ヲ
分離スルニ至リテハ、則皆四資ニ歸スルナリ、予熟造
化ノ神機ヲ究ムルニ、所謂土水火風、奇結妙合ノ、而ノ

能ク万物ヲ發生ストイヘ氏、而レ氏亦其自己ノ性ヨ
リシテ、而メ能ク物ヲ成スノ妙アル者ニ非ザルナリ、
而ノ其物ヲ成ス所以ノ者ハ、必昊天ヨリ照射スル所
ノ天柱ノ精神ト、大地ヨリ蒸発スル所ノ地柱ノ靈氣
トノ此四資ニ主宰タルヲ俟テ、然メ後ニ之ヲ能クス
ルヲ得ルノミ、而メ其四資ニ主宰トメ、而メ万物ヲ
化育スル所謂ニ柱ノ神靈ナル者ハ、奚何ナル物ニメ、
斯ノ如キノ妙ヲ為スヤ、沈潛反覆シテ之ヲ探究スレ
バ、則是万物ノ皇天ヨリ稟ル所ノ性命ニメ、而メ肉眼
ノ見ルベキ所ニ非ザルナリ、然リ而メ、予近來諸種ノ

鹹^シヲ製煉シテ、精粹ナル一物ヲ取得タリ、其物タル
ヤ、鹽質ニメ、瑩明、英發、輕虛、翹颺乎トメ、茅華ノ翹飛ス
ルガ如シ、其ノ性極メテ、透竄、味ヒ甚列、辣タリ、之ヲ他
ノ鹽類ニ比スルニ、大ニ異効アリテ、之ヲ堅氷ニ和ス
レバ、堅氷即チ洋^シ釋シ、之ヲ稀泥ニ混スレバ、稀泥凝固
ス、是ニ由テ之ヲ觀レバ、幾ント水モ此氣ヲ脱スレバ、
則チ水ノ用ヲナスヲ能ハズ、土モ此氣ヲ脱スレバ、則
チ土ノ用ヲナスヲ能ハズ、恐ラクハ是、天地ニ柱ノ神
氣^シ僅ニ鹽質ニ遺託スル者カ、而メ其歎ズベキ者ハ、苦
心勞碌ノ此物ヲ取得ルトイヘ氏、而モ貯^ルフルニ術ナ

以須臾ノ間ニシテ悉ク皆消滅ス、因テ知ル可シ、固ヨ
リ人間ニ留ムベキ物ニ非サルヲ、然レモ予此ノ物
ヲ取得テ以還、硬鹽ニ鹽將來スル所以ノ機、勞セズシ
テ自得ス、是ニ於テ乎天地成物ノ理、始テ其蘊奥ヲ見
ルヲ得タリ、所謂硬鹽ニ鹽ハ、即天地ニ柱ノ靈氣ノ
水土ニ依託スル者タルヲ知ル、此万物ノ消長終始
皆此ノ二鹽ノ合散ニ係ル所以ナリ、西洋人亦曾テ此
理ヲ講究シテ、既ニ固鹽、揮發鹽ノ名アリ、因テ其義ヲ
審ニスルモ、所謂固鹽ハ、我カ硬鹽ト同ク、揮發鹽ハ、
鹽ニ異ナルヲナシ、然レモ其將來スル所ヲ、精究スル

ニ至テハ大ニ同カラサルヲアリ、何トナレハ、西洋人
ノ造化ヲ論スルヤ、産靈大神、天地鑄造ノ神理ヲ知ラ
ズ、故ニ萬物發育ヲ以テ、唯太陽煦温ノ功德ニ頼ルト
ナシテ、日光ノ赫灼モ、土産繁殖モ、畢竟天地ニ柱蒸発
ノ靈氣ヨリ出ルヲ知ラズ、是ヲ以テ其諸説基ツク
所ノ淵源ヲ推スルハ、脱空ニ正經アルヲナシ、予嘗
テ諸鹽ノ將來スル所以ノ原由ヲ觀ルヲアリ、而シテ之
ヲ天柱記ニ論載セリ、茲ニ其畧ヲ論セム、凡鹽ハ、硬固
揮發ノ品類有リトイヘ、其原ヲ精究スレバ、則地柱
蒸發ノ靈氣ニ、硬固ノ一種ノ、唯其天柱ノ神氣ヲ

含蓄スルノ多少ニ因テ、曉輒揮發ノ諸質ヲ変出スル
ナリ、此モ亦産靈ノ妙用ニシテ、然ラズハアル可カラザ
ル者ナリ、且夫天地ノ物ヲ成スヤ、土水火風之ガ資少
リトイヘ氏、然レ氏之ヲ審折キスル氏ハ、風火ハ氣アリ
テ、而シテ質無キ者也、故ニ能ク、水土二質ニ混和シ、而シ
テ揮發運動ノ妙ヲ為スナリ、土水ハ質有テ氣無キ者ナ
リ、故ニ能ク風火二氣ヲ含蓄シ、而シテ化育成長ノ用ヲ
為スナリ、夫水ノ本質ハ堅氷ナリ、造化ノ靈氣ヲ含蓄
シ、然レ後渙釋流動シ、以テ水ノ用タルヲ得ル者ナ
リ、土ノ本質ハ淤泥ナリ、造化ノ靈氣ヲ含蓄シ、然レ後

ニ凝固結定シ、以テ土ノ用タルヲ得ル者ナリ、火ヲ
以テ水ニ加フレバ則風ヲ作シ、風ヲ以テ土ニ加フレバ
則火ヲ發ス、土ノ火ヲ含ム者ハ硫黃也、風ヲ含ム者ハ
硝磺也、水ノ風ヲ含ム者ハ鹵也、火ヲ含ム者ハ油ナリ、
是故ニ、土石草木活物ノ化育ヲ為スヤ、皆硫黃、硝磺、鹹
鹼、脂油等ノ混和凝合スル所ニシテ、造化ノ靈氣ノ薰
陶ニ成ルナリ、所謂其造化ノ靈氣、即チ天地二柱、蒸沸
發越ノ精神ニシテ、而シテ皇祖ミホ天神ノ至心、人神ヲ蕃息セ
ンヲ欲スルノ神機ヨリ出ル者ナリ、是故ニ日輪ア
リトイヘ氏、天真柱マコト魚イサキイサハ、赫灼タル光焰ヲ發スル

能ハス、大地アリトイヘ、地真柱ナキ、ハ、玲瓏夕
ル薰園ヲ嘘コト能ハズ、故ニ二柱ハ、造化ノ基元ナリ、
四資ハ、成物ノ資料ナリ、此レ皆予カ發明スル所ノ造
物ノ窮理ナリ、其他尚精詳ノ説ハ、天柱衍義ニ之ヲ論
載セリ、且又万物製造ノ説ハ、別ニ銘造行義有テ之ヲ
辨明ス、然レ氏茲ニ小論ヲ附シテ、聊概畧ヲ示ス、既ニ
上ニ論スルカ如ク、万物皆初生ヨリ成長ニ至ルマテ、
大抵鹵氣ノ凝ル所ナリ、而ノ鹵鹽モ亦種属頗ル多シ
凡鹽ハ、天柱發越ノ氣ト、地柱蒸沸ノ氣ト、共ニ妙合
炙熱ノ生スル所也、故ニ其氣先ツ薰園中ニ兆シテ、

而ノ其質地上ニ成ルナリ、天_成ヲ鹵ト為シ、人_成ヲ
鹽ト為シ、海生ヲ鹹トイヒ、陸生ヲ鱗トイフ、熱國ハ
海ヨリ生シ、寒國ハ山ヨリ生ス、又温暖ノ國、時トノ
天華ヲ雨ラス_トアリ、天華ハ、其色淡白透明ニシ、薄
氷ニ類ス、雨ル時_{濕々}乎トメ、白蓮花ノ風ニ散亂ス
ルカ如シ、皇國モ亦此ノ物ヲ雨ラス_トアリ、即是鹽
氣既ニ薰園中ニ兆シテ、未ダ本質ヲ成サ_ル者也
乃下テ地上ニ至ル_ルハ消滅ス、其ノ花ヲ作シテ降
ル所以ノ者ハ、濃厚ノ鹽氣日光ノ炙熱ニ遇テ、乃炙
成セラル、カ故ノ_ニ或人予ニ問テ曰ク、高山日ニ

天地

近ノ而寒冷甚強ク、平地日ニ遠ノ而炎暑甚強ク、是
 何ノ理ゾヤ、予答テ曰ク、汝、玻璃ヲ以テ天火ヲ取ル
 ノ法ヲ知ラザルカ、燧甚ダ玉板ニ近キハ火發セ
 ガルナリ、是高山ノ暑氣ハ、平地ノ酷ギニシカザル
 ナリ、夫レ日光ノ煜灼タルハ、天柱發越ノ見ナリ、薰
 園ノ玲瓏タルハ、地柱蒸沸ノ氣ナリ、薰園天火ヲ
 攝スルノ妙、日光水土ヲ煨煨スルノ機、皇祖鎔造ノ
 神業ニメ、感歎敬服欣戴スルニ違アラズ、實ニ一辞
 モ贅スルヲ能ハズ、至レルカナ、
 而メ之ヲ硬脆ノニツニ統ブルハ其性氷炭相反スル

ノ異ルヲ以テナリ、夫鹽ノ物タルヤ、元是一種ノミ、既
 ニ上ニ論ズルガ如ク、其由來スル所ヲ探索スレバ、則
 地柱蒸發スル所ノ氣、日光ノ為ニ蒸成セララル、者也
 而メ其神氣ヲ含ムトノ多キ者ハ、其質脆ク、神氣少キ
 者ハ硬シ、此ノニツノ者同ク出テ而メ其性ヲ異ニス
 同ク是造物ノ神機然ラズハアルベカラザル者也、硬
 鹽ハ、其質緻密凝堅ナリ、其凝堅ナル所以ハ、其性粘厚
 ナルカ故也、是ヲ以テ腐敗ヲ防止スルノ力甚強ク、之
 ヲ含ム廢物ヲメ經久存在セシム、故ニ消滅セントヲ
 欲メ、之ヲ烈火ニ煨クモ容易ク解釋スベカラザル也

鑿造 一
臘鹽ハ其質膠虛芒鍼ナリ、其芒鍼ナル所以ノ者ハ、其
性透竄ナルカ故ナリ、是以生氣ヲ増進スルノ勢甚ダ
剣^サク之ヲ含ム、炭物ヲメ、活潑運動セシム、故ニ貯藏セ
ン^一ヲ欲メ、之ヲ密器ニ封スルモ、而モ延纏止留スベ
カラザルナリ、此等ノ理、西洋人モ亦曾テ講究スル所
ニメ、而メ製練家ノ熟知スル所ナリ、豈予ガ辨ヲ俟ツ
者ナラムヤ、然レモ、予勞煩ヲ辭セズ、衆議ヲ顧ズ、反復
翰寫メ、敢テ之ヲ論ズル者ハ他ナシ、來學ヲメ、仔細ニ
天地成物ノ真理ヲ了知セシメムト欲スルナリ、何ト
ナレバ、外國ノ窮理學ハ、共ニ皆產靈ノ神理ヲ知ラズ、

是ヲ以テ其造化ヲ論スルヤ、萬物發育ヲ以テ、皆日輪
溫暖和煦ノ氣ニ賴ル者トス、而メ豐受姫神ノ遺骸ヨ
リ出ルヲ知ラザルナリ、是故ニ議論大畧其理ヲ得タ
ルガ如シトイヘモ、而レモ、究竟ハ、鹵芥^キ跡落ニメ根柢
アル^一ナケレバナリ、夫化育ハ日輪ノ煦燠ニ賴ルト
イヘモ、而レモ、豐受姫^{トク}ノ大德ヲ講ゼザルベケムヤ、此
予カ斯ノ書ニ於テ叮嚀^チヲ盡ス所以ナリ、土石草木活
物ハ、皆是蒼生ノ性命ヲ保續スルニ必需^{モト}ムル如ナリ、
皇祖天神斯ノ民ヲ矜^シレム故ニ、先ツ此三種ヲ豐饒ニ
メ、而メ後ニ蒼生得テ而メ蕃息ス可シ、夫土石ハ硬鹽

天地

ノ歸スル所ナリ故ニ其質萬歳ヲ經テ腐朽セザルナ
リ然レモ脆鹽ヲ含ムト甚少クモ而シテ運動ノ性ナレ
躰魄餘リアリ而シテ精魂足ラズ是以成長極メテ遲シ
此レ昇進最モ難キ所以ナリ而レモ土質ハ金石ニ比
スレバ則漸化稍ヤ速ナリ土石類製煉ノ以テ人世ノ
日用ニ供スベキ者其十七種ニ分ツ一ニ曰美玉二
ニ曰寶石三ニ曰美石四ニ曰丹青五ニ曰擬玉六ニ曰
七金七ニ曰半金八ニ曰金器九ニ曰藥石十ニ曰雜石
十一ニ曰甕器十二ニ曰煉石十三ニ曰諸鹵十四ニ曰
鹽石十五ニ曰硫礬十六ニ曰瓦埴十七ニ曰諸土是也

凡此ノ十七種ノ製煉術ハ皆人世必需ノ要法ニモ國
土ヲ有ツ者ノ講究セザルベカラサル者ナリ
美玉ハ大地蒸發ノ最モ精英ナル者也其美麗天下
ニ比スヘキ物ナレ唯仁者ノ心以テ之ニ比スル
ヲ得ベシ是ヲ以テ之ヲ君子ノ服ニ飾リテ其美德
ヲ表ス故ニ有徳ノ人ニ非サレバ之ヲ懷クモ猶必
ス罪アリ況ヤ服佩ト為スヲヤ何トナレバ美玉ハ
翹ニ人世ノ玩物ノミナラズ鬼神モ亦甚之ヲ愛ス
信ニ世界ノ至宝也故ニ此物ノ發育スルヤ精華ヲ
旨ト為シ而シテ之ヲ釀成ス是ヲ以テ其蒸育ノ機或

ハ熱化ニ過ク、凡物ノ生育スル熱化ニ過ル者ハ必
 ス脆鹽ヲ含ム、脆鹽ヲ含ム者ハ其質必ス脆シ、是故
 ニ玉ノ性ハ至堅ニシ、利及モ切ル可キニ非ズ、而モ
 重鈍以テ之ヲ攪ツ寸ハ、折裂崩壊ス、之ヲ火ニ煨ク
 モ亦乃粉碎ス、大ニ金鉄ノ質ニ異ナリ、或ハ其蒸育
 ノ機、太ダ熱化ニ過ルキハ、渾成スルヲアタハズ、凡
 玉ハ渾成スルアタハザル者ハ、大青及曾青、白青、綠
 青是ナリ、雞冠石等モ、亦能ク釀化渾成スレバ、則赤
 玉ニ幾シ、其他、寶石、及ヒ、瑪瑙、水晶、琥珀、珊瑚、樹青、琅
 玕、玫瑰、孔雀石、五雲石、青田石、等石ノ美麗ナル者ハ、

皆之ヲ玉種類ニ算フ、又擬玉ハ硝子以テ琉璃、玻璃
 ニ擬シ、紅汁ニ鹿角魚齒等ヲ煮テ以テ、珊瑚ニ擬シ、
 松脂ニ他藥ヲ和シテ以テ琥珀ニ擬スルノ類、其他
 擬玉、煉玉法、尚數多アリ、石英ヲ以テ硝子ヲ製スル
 片ハ、透明水晶ニ同シ、以テ明鏡、及ヒ、眼鏡、望遠鏡、其
 他諸器物ヲ製ス可シ、凡宝玉、美石、皆高山幽谷ノ中
 ニ深藏スル者ナリ、探索發檢ノ以テ國産ト為スベ
 キナリ、七金トハ、黄金、白銀、銅、鉄、鉛、錫、水銀、是ナリ、皇
 國諸州、金銀及ヒ銅鉄鉛ヲ産スル極テ多シ、唯錫、水
 銀ノ二種少シ、先年勢州丹生山、頗ル水銀ヲ出セリ、

其後山崩テ今ハ出ザルナリ、然レ山ノ丹土多キ處
ハ、皆必水銀ヲ含有スル者ナリ、法ヲ行テ取ルベシ、
又錫ハ、出羽ノ秋田、下野ノ足尾、豊後、伊豫、日向、其他
處々之ヲ出ス、然レトモ、多ク出サ、ル者ハ、之ヲ取
ルノ法、未タ善ヲ尽サ、ル故ナリ、黄金ハ處々之ヲ
出ス、然レレ其得ル所ノ利、以テ失フ所ノ費ヲ補フ
ニ足ラズ、是ヲ以テ採ル者鮮シ、白銀ハ、諸國多ク之
ヲ出ス、而シテ秋田最モ大ナリ、銅鉛モ亦秋田ヲ第一
ト為ス、鉄ハ諸國皆之アリ、而シテ其多ク出ス者ハ、出
雲、石見、因幡、伯耆、但馬、備中、備後、及ビ陸奥、日向等ナ

リ、鏡ニ三種アリ、曰生鏡、曰熟鉄、曰鋼鉄、是ナリ、凡七
金ノ製煉、古来皇國ヲ精好ナリトス、歐羅巴人モ亦
七金製煉ノ術ヲ論ス、七金譯説ト名ツクル書アリ、
即譯士馬場某、官ノ命ヲ奉シ、西洋人勒乙斯ガ書、及
ヒ叙彌兒ガ書等ノ論昏中、議論七金ノ事ニ及ヘル者
ヲ論選メ、而シテ譯定スル所ナリ、蓋シ彼ノ原書モ亦
自其術ヲ試ズメ、聞ニ從ヒ、即チ録セル者ナリ、故ニ
趣意ハ明ナリトイヘレ、製法未ダ詳ナラズ、其窮理
諸説ニ至リテハ、則頗奇絶巧妙ニシテ發明スル所多
シトイヘレ、然レ其實理ニ倍メ虚妄ニ涉ル者亦コ

レアリ、今夫皇國ノ諸金製煉術、佐渡ノ金ニ於ケル、
 吉備因伯ノ鉄ニオケル、伊豫、秋田、南部等ノ銅ニ於
 ケル、加賀、越後、及秋田ノ鉛ニオケル、秋田ノ銀銅分
 離術ニ於ケル、其法精妙高ク、萬國ニ秀ツ、且夫七金
 譯説ニ、精好硫黄ニ凝固水銀ヲ加テ以黄金ヲ製ス
 ヘシトイフガ如キニ至テハ、則皆是謬妄大體ノ説
 ナリ、夫黄金ハ、地柱ノ精ナリ、故ニ其沉重、性世界
 第一ニノ、他金ノ擬ス可キ者ニアラザル也、黄金沉
 重強キ所以ノ者ハ、即地柱翁收ノ勢力ナリ、凡大地
 ヨリ出ル者ハ、皆地柱ニ翁ハル、而ノ黄金ハ其最シ

ル者ナリ、西洋人ハ、天柱地柱ノ神理ヲ知ラズ、故ニ
 往々理外ノ謬妄アリ、又半金ハ、倭鉛、爐甘石、慈石、安
 質、謨叔莫、玄石、代赭石等其他尚多シ、倭鉛ハ、爐甘石
 ヲ以テ之ヲ製ス、此物皇國未多カラズ、宜ク探索ス
 ベシ、慈石ハ、近來諸國之ヲ出ス、而ノ備前ノ産最モ
 上品、備後、美濃、甲斐之ニ亞ク、仙臺南部等ハ下品ナ
 リ、能ク之ヲ探索セバ、當ニ上品アルベシ、金器ハ諸
 金ヲ鍛煉メ以テ器物ヲ製造スルナリ、黄金ハ粉ト
 為シ、箔トナシ、或ハ諸器物ヲ製ス、銀モ亦然リ、越ニ
 世上融通ノ貨幣ノミナラザルナリ、其他諸器之ヲ

以テ飾ル、銅鉄ハ、鍋釜ノ用甚大ナリ、熟鉄ハ、器ヲ製
 ス、鋼鉄ハ、諸刀、劔、鎗、及、小刀ノ類極多シ、鉛ハ、白粉、及、
 黄丹等ナリ、錫ハ、器ニ作り、且銅器ニ釜ス、其他銅器
 ヲ鑄ルニ必用タリ、又銅ニ倭鉛ヲ和シテ、假鍮ト名
 ツク、其色黄金ニ似タリ、假鍮モ器ニ作ルノ用甚廣
 シ、又水銀ハ、諸金器金銀ノ箔ヲ釜ルニ必用タリ、或
 ハ硫黄ヲ和シ以テ朱ヲ製シ、或ハ鹽ヲ和シ煨昇ノ
 輕粉ヲ製ス、其他種々ノ藥物ヲ製ス、且製鏡ノ要藥
 ナリ、凡七金ヲ鍛煉ノ以テ器物ヲ製造スルハ、國家
 經濟ノ要務ナリ、國土ヲ有ツ者ハ、精究セズバアル

ベカラズ、小ナル者ハ自國ノ用ヲ足シ、大ナル者ハ
 他邦ニ輸シ、以テ互市交易ノ利ヲ収メテ、以テ國家
 ヲ富實ス可シ、藥石トハ、石膏、滑石、五色石、脂礫石、理
 石、陽起石、石鐘乳、雲母、其他甚多シ、陽起石、及ヒ青礫
 石、近來皇國處々之ヲ出ス、甚上品ナリ、且亦礬石、砒
 石等モ、亦必用ノ物之ヲ取りテ、以テ國産ト為ス可
 シ、砒石ノ藥用ハ多カラズトイヘ、凡耕作ノ要物ト
 リ、世人未ダ之ヲ用ルノ法ヲ知ラザルナリ、雜石ト
 ハ、越砒、及礪石、石板、跋石、卷石、浮石、磧礫、其ノ他、石炭
 モ掘出ス可ク、石灰亦焼出ス可シ、皆一箇ノ物産ナ

リ甕器ハ、軟岩ノ白色ナル者ヲ賢本トナス、白色ノ軟岩ヲ採リ舂テ而シ粉ト為ス、名テ堊粉トイフ、即是白甕坏ヲ造ル料ナリ、若夫軟岩ノ潔白ナラザル者ハ、甕ノ色灰白ナリ以テ壘トウ及ビ土罐ドビノ類ヲ焼クベシ、或ハ無名異ヲ塗リ、青甕ヲ焼クモ亦妙ナリ、煉石ハ、其法瓦埴ノコトクニシテ、調泥頗異ナリ、大ナル者ハ、以テ城郭ノ垣ト為ス可ク、小ナル者ハ、硯ヲ製スルノ類ナリ、諸鹵トハ、鹽ヲ製スル事ナリ、凡鹽ハ人世日用ノ最大ナル者也、然氏赤道距離四十度以外ノ國々ハ、潮水苦味多クノ鹹味少ク、塩漏ノ業

損多クノ益少シ、四十五度外ノ地ニ至リテハ、海水塩氣無キ者ナリ、且又寒國及ビ海ニ遠キ處ハ、必山ヨリ塩ヲ出スモノナリ、探索スベシ、塩石トハ、銷消芒消等也、硫礬、硫黃、明礬、綠礬、黃礬、紅礬、膽礬等、硫鹽類モ亦頗多シ、又瓦埴ハ、埴泥ノ小業トイフトイヘ氏、甕、瓶、紅壘、雷孟等ノ諸器、其他瓦器ノ用極メテ廣シ、且又小兒玩物ノ類、近來東都今戸ノ焼出ストコ口、頗好妙ヲ尽シ、信ニ一箇ノ物産ナリ、諸土ハ、翅ニ五色ノ土ノミナラザルナリ、其深丹ナル者ハ、必水銀ヲ含ム、宜ク法ヲ行ヒ水銀ヲ取ル可シ、黃土ハ、丹

青ニ之ヲ用并或ハ藥用ト為ス、無名異モ亦然リ、無名異ハ、青蘘ヲ燒クノ要物ナリ、近來皇國處々之ヲ出ス、宜ク探索スベシ、且又薪料闕少ノ地ハ、往々燃土ヲ出ス、燃土アル旁ニ、或ハ地瓊アル者ナリ、地瓊一名石腦油之ヲ取リテ以テ貧民ノ燈火ヲ助ク可ク、其油ノ烟以テ墨ヲ制スベシ、皆是產靈大神ノ人類ヲ滋息スルノ靈機ニノ、國家ニ長タル者心ヲ尽サズバアルベカラズ、

生植類ハ、其初ノ皆豐受姬ノ遺骸ヨリ生セリ、豐受姬一名ハ保食神、即チ伊勢ノ外宮ノ大神是ナリ、故ニ木

靈屋ヤ船フネ久久之遷ナリ神、草靈屋ヤ船フネ草野カサノ姬神モ、共ニ皆此神ノ分靈ナリ、然リ而メ、草木ノ質ハ、臉鹽ヲ含ムト金石ヨリ多ク、硬鹽ハ金石ヨリ少シ、是以テ成長甚早クノ腐朽モ亦速ナリ、然レ木類ハ、草ニ比スルハ硬鹽多シ、故ニ腐朽草ニ後レ、且霜ニ遇ヒテ枯レズ、草類硬鹽少クシテ、頗臉鹽アリ、是以テ滋蔓速ナリトイヘ、霜ニ遇フトキハ枯死ス、草モ亦硬鹽ヲ含ム者、或ハ霜ヲ經テ枯ザルアリ、

草類ノ硬鹽多キ者ハ、麥門冬リウウノ、萬年青マンニシ、吉祥草キョウジヤウ、麩吾菜フクゴサイ、苜蓿モクコ、酸模スカンボ、屋遊等是ナリ、凡草類ノ根ニ、硬鹽ヲ含ム者

ハ、莖葉霜ニ遇ヒテ枯ル、トイヘ氏、明年暖氣イ夕
 レバ、則チ宿根復新芽ヲ發ス、若夫根モ硬塩魚キ者
 ハ、必ス毎年皆腐朽ス、又木類ハ、幹援皆硬塩有リテ
 或ハ葉硬塩ナキ者ハ、霜至レバ則チ枯ル、葉モ硬塩
 アル者ハ、四時凋マズ、即チ松、柏、楠、檜、杉、榧、金松
 羅漢松、青精杜仲、女貞、狗骨、山茶、茶梅、海桐、枇杷、八角
 金盤等ノ類コレナリ、其他、万年藟、忍冬、常春藤、蔓生
 釣吻、寒莓等亦冬ヲ経テ凋マザルナリ、
 種子ハ、草木俱ニ皆造化ノ靈氣ヲ含蓄ス、故ニ生々已
 マザルナリ、然レ氏時ニ播サレバ神氣必脱ス、察セズ

バアルベカラザル者ナリ、凡草木種子ヲ結ハムトス
 ルヤ、神靈擁護シ、各其物ヲ人、自己ノ精魂ヲ醸成セシ
 ム、然レ其賦命ノ活物ニ異ナル者ハ、血液ナキガ故ナ
 リ、凡血液無キ者ハ、必情欲ナシ、是以父生母鞠ノ績ヲ
 俟ズ、各箇自己ノ精魂ヲ醸成スル者ナリ、故ニ精魂
 既ニ成ルキハ蒂ヲ抽ンツ、是ノ時ニ當リテ、其種子固
 繞袍護ノ精氣前驅ノ蓓蕾ヲ生ス、時至テ而華ヲ開キ、
 華謝ノ而果其礎ニ實ノル故ニ、華ハ種子ノ胞衣ナリ、
 且華ハ、火土二神ノ靈氣ヲ受ル、多シ、其香氣ノ馥郁
 タルハ、土神ノ遺靈ナリ、容色ノ婀娜タルハ、火神ノ遺

靈ナリ、腺塩多ク脂油多キガ故ニ謝スルヲ速ナリ、其
腺塩及脂油少キ者ハ、落華セズ、且ツ香氣モ亦少シ、維
冠花、千日紅ノ如キ是ナリ、而ノ其落華セザル者ハ大
松拊中ニ種子ヲ含ムナリ、或ハ華有リテ實ラサル者
アリ、扶移楸棠ノ如キ是ナリ、或ハ果有リテ華無キ者
アリ、天仙果、刀生果ノ如キ是ナリ、或ハ其華萎縮シテ
即チ果實ト為ル者アリ、丁子金鈞梨ノ如キ是ナリ、或
ハ莖抄ニ華ヲ朶シ、而ノ種子葉間ニ旁生スル者アリ、
玉蜀黍、卷丹、零餘子等ノ如キ是ナリ、其他異常ノ化育
尚多シ、此等ノ諸件ハ皆是其物守護ノ鬼神ノ好シニ

従フ所ニ人、其各自己精魂ヲ醸成スルノ天常ニ至リ
テハ、則不同アルナシ、

西洋人、一切ノ生物化育ノ理ヲ講明ノ二種ニ別テ、
人類及諸活物ノ歩行自在ナラサルノ靡キ者ヲ名
ツケテ、動物トイヒ、又其歩行スルヲ能ハサル者ヲ
名ツケテ、植物トイフ、而ノ其植物ノ理ヲ精究ノ曰
ク一切ノ植物、氣ヲ食シ、水ヲ食シ、火ヲ食シ、土ヲ食
シ、而ノ凝定流動ノ二類ヲ化成スルハ、動物ト差異
無キナリ、根、幹、枝、葉、花、實ノ六部、此ヲ凝定類ト為シ、
根幹液、葉液、花液、實子液、皮液、膜液ノ六種、此ヲ流動

類ト為シ、凝類六部各箇一ナラス、根ニ五品アリ、幹ニ七品アリ、枝ニ八名アリ、援ニ七種アリ、葉ニ三大別、二百餘形アリ、花ニ二十四經、一百十餘緯アリ、實ニ三等十品アリ、又流類六種モ、色質、香味各箇同シカラザル、亦復此ノ如シ、詳ニ之ヲ演レバ、則根幹液ハ乳糜ナリ、葉液ハ血ナリ、花液ハ陰器ノ液ナリ、實子液ハ造化成功ノ液ナリ、皮液ハ養液ナリ、膜液ハ脂肪ナリ、葉液ニ三種アリ、花液ニ三種アリ、皮液ニ八種アリ、如是諸液循環輸轉ノ終レハ則老廢シ、蒸發孔ヨリ漏泄ノ而ノ去ル、何ノ所為ヲ以テ此ノ

如ク循環スルトナレバ、皆太陽溫暖和煦ノ氣ニ頼ルナリ、一紀一歳一日一時一刻ノ温氣モ、悉ク皆関係スト、又曰ク、一切ノ植物、本来一條ノ纖維錯綜ノ一片ノ薄膜ト、二品ノ尿管トヲ織成ス、是ノ膜是ノ管全身ヲ造作ス、膜ハ即表被ニシ、全身ノ衆器ヲ包絡圍繞シ、無數ノ玄孔皺紋ヲ具足ス、二品ノ尿管、一ノ尿管ト名ツク、動靜二脉及水脉乳糜脉ヲ綜攝ス、二ハ氣管ト名ツク、大空氣ヲ通ジ、諸液ノ循環ヲ扶持ス、根皮ニ輸收管孔アリ、蒸發管孔アリ、葉ニ神經アリ、機里爾アリ、蒸發孔アリ、軟細ノ毛茸ハ至微無

數ノ管孔口ナリ、根ハ胃ナリ、幹莖ハ腸ナリ、葉ハ肺
 ナリ、花ハ陰處ナリ、粉ハ男精ナリ、絲ハ輸精管ナリ、
 藥ハ精囊ナリ、花柱ハ陰室ナリ、柱頭ハ陰門ナリ、礎
 ハ卵巢ナリ、子宮ナリ、胚胎ナリ、花心ハ胞衣ナリ、種
 子ハ卵ナリ、一切種子ノ圓ナル者、扁ナル者、長キ者、
 短キ者、俱ニ細眼アリ、即チ臍ナリ、種子ノ未ダ室ヲ
 成⁺サル者ヲ破レハ、皆細節アリテ固維牢繫ス、^多節ハ
 即チ臍帶ナリ、種子地ニ落レバ、則復^多甲折^ワク、甲折レ
 バ根ヲ下ス、根又莖ヲ抽テ、莖又葉ヲ生ス、花實ヲ發
 露シ、實復種子ヲ藏シテ、生々已マガルナリ、色香性

味分毫モ易^カラズ、猶動物ノ生産蕃息シテ、生理循環
 ノ間斷アル^ト無キガ如シト云フ、信淵按スルニ、西
 洋人草木ヲ解躰スルハ、則精詳ナリ、其生理ヲ論ス
 ルニ至テハ、則大ニ誤テリ、既ニ論ズルガ如キ、凡草
 木ハ先^チ胚胎^ノ而^{シテ}後^ニ蓓蕾ヲ發スル者ナリ、然ルニ、
 彼レ花ハ陰處ナリ、節ハ輸精管也、藥ハ精囊ナリ、粉
 ハ男精ナリト云フ、豈先^チ胚胎^ノ而^{シテ}後^ニ陰處子
 宮等ヲ生スル者アラムヤ、夫草木ハ生氣有テ而^{シテ}
 血液無キ者ナリ、血液ナキ者ハ必情欲ナシ、即是天
 地ノ常理ナリ、然ルニ草木ヲ講シテ、男精女卵ニ及

フ、何ソ其鑿空ノ甚キヤ、朱竹垞言ヘル「アリ、曰ク西洋ノ言ハ數ノ中ニ溺レテ、理ノ外ニ出テ、人ニ傲ルニ知ラザル所ヲ以テスト、實ニ知言ナリ、凡草木半焼ケテ炭ト為ル者ハ、經久ニノ朽ズ、是火化ヲ得ルノ間ニ硬鹽溲ルガ故也、是ヲ以テ炭質ハ石ニ近キ者ナリ、若夫自然ノ地火之ヲ薰焼スレバ、則化シ石ト為ル、自然ノ地火ハ、硬鹽多キガ故ナリ、是柔軟ヨリノ而ノ堅強ニ出ル者ナリ、又硬炭ヲ再焼ノ白燂ト為ス、凡ハ消散シテ土質ニ歸ル、是炭ノ火化ヲ得ルト太甚キ寸ハ、硬鹽變ノ賤鹽トナルガ故也、是有形ヨリ

ノ無形ニ入ル者ナリ、又草木半ハ腐テ賤鹽ヲ含ム、凡ハ化ノ蟲ト為ル、夫豈ハ微少ナリト雖モ、血液アル者也、凡血液有ル者ハ必情欲アリ、は無情ヨリノ而ノ有情ニ趨ク者ナリ、凡土石ノ無魂ヨリノ而ノ草木ノ有魂ニ出テ、草木ノ無情ヨリノ而ノ活物ノ有情ニ趨ク、皆是昇進ナリ、寧冬^{ハレ}夏^{ナレ}草ト為リテ、而ノ死又ルモ一タビ血液アリ、情欲有テ、而ノ步行運動自在ナル者トナリテ、而ノ死又ル「ヲ得ルハ、則チ活物也、其貴キ「豈植物ノ比ヒナラムヤ、而ノ生植類ハ、食物衣類宮室器械ノ根元ニノ、人世ノ必需焉ヨリ大ナルハナキ者

也、且其物品極ノテ繁庶ナリ、茲ニ分テ二十種ト為シ、
 其耕種製造法ヲ概論シテ以テ經濟ノ要ヲ示ス、一ニ
 曰諸穀、二ニ曰諸菜、三ニ曰菓蔬、四ニ曰造釀、五ニ曰製
 饌、六ニ曰諸絲、七ニ曰衣料、八ニ曰染料、九ニ曰藥物、十
 二ニ曰製劑、十一ニ曰油脂、十二ニ曰漉紙、十三ニ曰茶香、
 十四ニ曰家器、十五ニ曰雜器、十六ニ曰竹器、十七ニ曰
 材木、十八ニ曰炭薪、十九ニ曰雜產、二十ニ曰名花、是ナ
 リ、
 穀物諸菜ハ、日用ノ緊急ナリ、而ノ其耕種法甚秘術
 アリ、菓蔬ノ類モ亦然リ、以上三種ハ、即チ酒醬果子

等ノ資本也、故ニ先ツ此三種ヲ豐穰ニシ、而ノ後以
 テ造釀ト製饌トニ從事スベシ、造釀者、酒醬ノ製法
 也、酒ニ品類多シ、清醕スミ濁醪ニヨリ、一夜酒アマサケ、燒酒等ハ、皆人ノ
 知ル所ナリ、其他粟、麥、蜜柑ミカン、蒲桃ブドウ、栗、柿、梨、梅、胡桃クルミ等モ
 亦以テ酒ニ釀ス可キナリ、白麴、黃麴、紅麴アカ、盒法ネカシヤ、秘傳
 アリ、又醋及醬油モ、亦製法甚多シ、鼓醬ヒシホ、金山鼓、梅醬トキ
 柚醬等、其製法皆精妙ヲ究ムベシ、又製饌ハ、果子ノ
 製法ナリ、凡果子ヲ製スルニハ、沙糖ヲ以テ基本ト
 為ス、故ニ先ツ甘蔗ヲ作テ、黑白氷ノ三種ノ沙糖ヲ
 製シ、而ノ後ニ事ニ從フ可キナリ、飴アメモ亦上品ヲ製

スル片ハ、一箇ノ物産ナリ、諸絲ハ、麻、苧、泉苧、麻、藤皮、
 艸綿等ナリ、凡絲ハ以テ布ヲ織ルベク、以テ繩ト為
 スベキ者極テ多シ、衣料モ亦即チ諸絲ヲ織リ、且綿
 類ヲ聚ムルナリ、染料ハ、藍葉、紅花、紫根、茜根、王葛、山
 梔子、黃蘗皮、梅皮、檫皮、橙皮、胡桃葉、漆樹皮、等甚多シ、
 藍靛ノ製法、紅花ノ製法、皆秘説アリ、且艸木ノ花ノ
 赤キ者ハ、皆以テ紅ヲ取ルベシ、雞頭花、青箱花、槐花、
 玫瑰花、赤薔薇花、等ノ如キ、即是ナリ、又藥物ハ、人蔘、
 黃耆、當歸、川芎、地黃、等其他極テ多シ、或ハ苑中ニ作
 リ、或ハ自然生ヲ取リ、以テ國用ニ供スベク、以テ他

邦ニ輸スヘシ、製劑トハ、或ハ刺シ、或ハ舂キ、或ハ火
 ニ煨シ、或ハ水飛シ、或ハ升餾ノ露ヲ取リ、油ヲ取リ、
 鹽ヲ取リ、或ハ散トナシ、丸トナシ、煉藥トナシ、膏藥
 トナス等ナリ、又油脂トハ、艸木ノ種子ヲ搾壓シテ、
 油ヲ取リ、且ツ艸木ノ根皮ヲ煬蒸メ、脂ヲ取ルノ法
 ナリ、油類ハ、荏菴、胡麻、綿實、月桂子、胡桃、山茶實、罌子
 桐、其他尚多シ、脂類ハ、松、杉、榛、其他、薔薇、木樟、腦等ナ
 リ、又漉紙ハ、其法種々アリ、然トモ其資料ハ、大抵楮
 木三叉木ナリ、其他、桑、櫻等ノ皮、及竹、荀モ、亦以テ紙
 ヲ漉クヘキナリ、今夫越前ノ奉書、常陸ノ西ノ内、及

美濃、伊豫、周防、石見、筑紫等ノ産スル所皆楮皮ナリ、
 駿河ハ三又木ナリ、三又木ト、桑皮ハ、其質弱クシテ
 裂ケ易シ、昔ハ奥州ノ檀紙、甚高名ナリ、今ハ寂然ト
 シテ聞エルヲ無シ、其法ノ絶タルカ、唐紙ハ大半竹
 ナリ、西洋紙ハ、故敗ノ木綿ヲ以テ製ス、夫紙ハ、日用
 ノ頗ル大ナル者ナリ、楮樹、三又木、及黃蜀葵等殖ズ
 ハアルヘカラス、茶、香トハ、挽茶、煎茶、及求香、線香等
 ノ製法ナリ、此又人間必用ノ物ナリ、又家器ハ、盤、椀、
 飯斗、饌盒、提盒、層撞、果盤、酒杯、及臺盤、環盆、方盆、栴檀
 等ナリ、京師及紀州ノ産スル所、其名古来ヨリ高シ、

今時會津ノ出ス所モ亦頗ル大ナリ、出羽ノ野代ノ
 産スル所、方盆、環盆等、漆ヲ用ルノ精好ナルヲ、其光
 髣實ニ天下ニ獨歩ス、其法皆學フヘシ、竹器ハ、駿河
 ノ産頗ル精妙ナリ、雜器ハ、舟車、武具、馬具、農具、桶、樽、
 箱、櫃、櫛、櫛等、甚タ多クシテ紀スヘカラス、夫草木ノ
 物タルヤ、年々ニ生長スル所ナリト雖モ而モ經久
 金石ノ如ナルヲ能ハズ取ザレハ則皆腐朽ス、且植
 ガレバ生ゼザル者アル故ニ、之ヲ殖生シ之ヲ採取
 レテ以テ、人世ノ用ニ供スルハ、即チ是國土ヲタモ
 ツ者ノ、天寵ニ敬答スルノ常務ナリ、若夫殖生セス

シテ、其種ヲ絶シ、或ハ採取セズシテ、其物ヲ腐ラス
 ルトキハ、諸神化育ノ功勞ヲ曠廢ス、諸神化育ノ功
 勞ヲ曠廢スルトキハ、上下神祇、皆震怒シテ必天災
 ヲ降ス_一アル者也、畏ガル可ケム哉、其理、尚下ニ詳
 ナリ、是故ニ國家ニ主タル者ハ天文ヲ明ニシ、地理
 ヲ審ニシ、度数ヲ測リ、氣候ヲ察シ、土性ヲ辨シ、耕殖
 ヲ勵シ、製造ヲ精クシ、名産ヲ出シ以テ國家ヲ經營
 ノ以テ人民ヲ安集スベキナリ材木薪炭等ニ從事
 スルハ、抑其末事ノミ、雜産ハ、纒ヲ絢ヒ、席ヲ織リ、蓑
 ヲ作り、笠ヲ縫_フ等、其他極テ多シ、近來上總長南ニ、

産スル所ノ薑_{スゲ}笠甚多ク、其勢ヒ加賀笠ヲ壓倒セリ、
 江戸ノ箬笠亦大ニ行ハル、藝州長州ノ傘、尾州ノ草
 履、阿州ノ桐履、江州ノ蒿艾_{モウサ}、九人類手足ヲ動ストキ
 ハ、以テ衣食スルニ足レリ、凡土地ヲ有ツ者、開物ノ
 學ヲ講明シテ、而ノ國事ヲ經營セバ、則以テ國家ヲ
 富豐ニシ、以テ人民ヲ繁盛ニス可シ、又名花ハ、珍木、
 奇草、華葉、美麗ナル者ハ、此モ亦産_ム靈大神人ヲノ覽
 テ以テ、心目ヲ歡娛セシムル所以ナリ、法ヲ用キテ
 植生シ、以テ形容ヲノ好妙ナラシメ、而ノ歡覽ニ供
 シ、或ハ諸_コヲ鉢栽_{ハチウヱ}ト為シ、以テ他邦ニ輸ス、此モ亦一

種ノ物産ナリ、國家ニ長タル者、心ヲ盡サ、ル可ケム哉、

凡生植類ハ、翅ニ種族繁茂ナルノミニアラズ、其之ヲシテ繁衍セシムルモ、亦細心從事セザルベカラザルナリ、何トナレバ、或ハ寒國ニ茂生シテ而シ熱地ニ榮エザル者アリ、或ハ煖國ニ蕃衍シテ寒地ニ生ゼザル者アリ、物各寒温所適ノ氣候アリテ、強ユ可カラザル者ナリ、且其土地モ亦、或ハ高燥ニ宜キアリ、或ハ卑濕ニ宜キアリ、而シテ、鬆、軟、墳、壤、沙漠、磧、礫、谷、自ニ好ムアリ、好マザルアリテ、之ヲ奈何トモス可カラザル者也、故

ニ氣候ヲ愛通シ、土性ヲ轉化スルノ妙用ヲ知ラズシテ、疎放ニ物産ニ從事スル氏ハ、勞ノ功ナキナリ、是ヲ以テ、成物家ニハ、氣候變通ノ法ト、土性調煉ノ術アルナリ、夫鬆ヲ實ニシ、糝ヲ稀ニシ、澆肥肥培スル者ハ、土性ヲ調スル所以ナリ、向ヲ塞キ、戸ヲ瑾シ、茅蕪鬱棲スル者ハ、氣候ヲ適スル所以ナリ、予ガ家、世、物産經濟ノ學ヲ脩メ、二十四般ノ氣候ヲ變用シ、四十八等ノ土性ヲ調和ス、即是、寒地ニノ暖國ノ産ヲ出シ、暖地ニノ寒國ノ物ヲ生スル者也、是故ニ、老農老圃ノ穀果蔬菜ヲ作ルヤ、天機ヲ縱ニシ、造化ヲ奪フノ手段アル者ハ、他

無シ唯是氣候ヲ變通シ土性ヲ轉化スルノ術ヲ行フ
ノミ

筑州久留米ノ民ハ能ク農事ヲ勵ミテ其業ヲ為ス
六月中旬縮ヲ植エ八月下旬之ヲ刈ル既ニ縮ヲ刈
リ即其田ヲ耕耜シテ麥ヲ播ク翌年三月麥間ニ藍
ノ苗ヲ植エ四月麥ヲ刈リ五月下旬ニ藍葉ヲ刈リ
六月上旬再藍ヲ刈ル即其畠ヲ耕耜シテ水ヲ溉キ
縮ヲ植ウ田畠四時休息アルヲ無シ是ヲ以テ久留
米ノ國ハ土地廣カラズト雖モ而レ氏租稅貢賦年
額甚多シ部内殷盛人民蕃庶ナリ良法アルニアラ

テルヨリハ悪ク能ク茲ニ至ルヲ得ムヤ且又木
綿甘蔗等ハ皆是國家必用ノ品也然レ氏赤道距離
四十度以外ノ地ハ良法ヲ用ウルニ非レバ則チ産
ヲ為サマルナリ是故ニ物産學ハ信ニ國家ノ鴻寶
ナリ若夫誠ニ能ク良法ヲ用ル者アラバ則チ従来一
萬石ノ土地ニノ或ハ十萬石ノ租稅ヲ獲ル者アラ
ム

活物類モ亦大半豊受姫ノ神ノ化生スル所ナリ凡活
物ハ^{モノ}膝^{モノ}鹽ヲ含ム^{モノ}甚多シ故ニ生ルレバ則チ能ク運
動ニ其成長モ亦速ナリ而ノ造化ノ神機或ハ走り或

ハ飛ヒ、千状萬態、愈出テ愈奇ナリ、然レ硬鹽ヲ含ム
 甚少ク、其質堅固ナラズ、存生モ亦長カラズ、而シテ其中
 ニ最モ脆弱ナル者ハ昆蟲ナリ、故ニ皆温ヲ好ミ、寒ヲ
 畏ル、霜ニ遇フキハ死シテ、骸質腐朽シ、悉ク土ニ歸ル
 者ナリ、然レ氏、其精魂消滅セズ、尚死處ノ土中ニ依
 留シ、明年温煖ノ氣候ヲ得レバ、則復滋息スル、舊ノ
 如シ、或ハ水族乾渴ニ因テ而シテ消滅スル者、再タビ潤
 澤ヲ得テ生息スルモ亦之ニ同シ、然レ氏、亦硬鹽ヲ
 含ム者ハ、或ハ幽穴ニ蟄シ、深坑ニ潛シ、而シテ寒ヲ禦ギ
 生ヲ保ツ者亦之アリ、即巨蟒、蛇、兒、石龍子、蜈蚣、蝦蟇等

是ナリ、水族ハ、陸虫ニ比スレバ、生氣強シ、故ニ長生ノ
 者アリ、活物モ禽獸ニ至リテハ、則寒ヲ畏レザル者多
 シ、禽獸ハ脂膏極メテ多シ、大魚モ亦然リ、夫脂油ハ火
 ノ水ニ混ジタル者ナリ、寒ニ堪テ傷セザル所以ナリ、
 凡活物ノ製造法ハ、分テ一十五種ト為ス、一ニ曰魚漁
 二ニ曰飼魚、三ニ曰家禽、四ニ曰野禽、五ニ曰家獸、六ニ
 曰野獸、七ニ曰水獸、八ニ曰割調、九ニ曰脂膏、十ニ曰皮
 革、十一ニ曰羽毛、十二ニ曰骨角、十三ニ曰藥物、十四ニ
 曰雜産、十五ニ曰玩物是也、

魚漁ハ其利甚廣大ナリ、西海諸州ノ海魚、及鯧、海豚

南海諸國ノ鉛垂魚、上総下総ノ海鰻、松前ノ松魚、及青魚、鯧、鮪、大口魚等、古來其名高シ、凡濱海諸州魚漁ノ大利ハ、以テ富盛ヲ致スニ足レリ、然氏漁士ノ性ハ、放埒ニノ省用ヲ知ラザル者ナリ、故ニ維持ノ法無レバ、久霖ノ苛窘ヲ免レズ、國家ニ長タル者察セザル可ケムヤ、大河大湖ノ濱亦然リ、飼魚ハ、池沼及溝中ニ魚ヲ飼フノ法ナリ、鯉魚ハ成長最モ速ナリ、飼養法ノ如クスルキハ、百餘日ノ間、其大サ二尺ニ至ル、其他、鮒、鯰、鰻、鰻等モ亦然リ、家禽ハ、生雞、鶩、鴨、雞、雉、烏骨雞、及鵝等ナリ、法ヲ以テ多ク飼ヘバ、卵

ヲ得ル一極テ多ク、一箇ノ産業ナリ、野禽ハ甚多クノ記載スベカラズ、家獸ハ、馬、牛、豕、羊、綿羊等ナリ、法ヲ以テ多ク養フ片ハ、廣大ノ產物ナリ、西洋弟那瑪ル加國ハ、年々牛馬豕羊ヲ他邦ニ輸スコト無數、因テ以テ其國富盛ナリトイフ、野獸ハ、熊、狼、鹿、猪、狐狸、貉、貓、山羊、羚羊、猿、兔、黃鼠、松鼠、由鼠、鼯鼠等ナリ、農間獵狩シテ以テ之ヲ取ル可シ、水獸ハ、海狗、水豹、海馬、海驢、海獺、水獺、水牛等ナリ、刺調ハ、獸肉ヲ割クナリ、或ハ鮮肉以テ烹調シ、或ハ脯ト為シ、膾トナシ、腊ト為シ、醃ト為シ、以テ國人ニ食ハシメ、以テ他邦ニ輸

スベシ、脂膏ハ、魚油及諸獸ノ油ナリ、或ハ燈火ニ供
 シ、或ハ膏藥ヲ煉リ、或ハ番瀝青ヲ製スルナリ、皮革
 ハ、諸獸ノ皮ナリ、凡皮ノ用極テ廣シ、其製煉精好ヲ
 盡ス、凡ハ一箇ノ盛産ナリ、羽毛ハ鳥ノ羽ノ美ナル
 者ハ以テ飾ト為ス可ク、其細毛ハ以テ褥子ニ實ス
 可シ、或ハ以テ鶴毛布ヲ織ルベシ、又綿羊毛、貉毛、兔
 毛等以テ、哆囉絨及羽毛緞等ヲ織ルベシ、牛毛ハ以
 テ毛薦ヲ織ルベク、馬毛ハ以テ篩羅ヲ織ルベシ、其
 他狸毛、狐毛、馬毛、或ハ筆ニ製ス可キ者アリ、刷ト為
 スベキ者アリ、又骨角ハ、諸獸ノ骨角、齒牙、以テ種々

ノ器物ヲ作ル可シ、馬ノ爪モ亦其價玳瑁ニ亞ク者
 ナリ、海首ノ鬚及筋、齒、其他諸獸諸魚ノ骨及齒牙有
 用ノ品多シ、藥種ハ、熊膽及諸獸諸魚、鱧地等ノ膽、其
 他、水蛭、蜚蟲、反鼻蛇、蟻、蝮、赤卒等、其他極テ多シ、且海
 狗腎、瑛珠、龍涎香、麝香、琥珀、石等、頗高價ナル者ナリ、
 雜産ハ、車渠、狗子貝、石决明、玉玃、夜光、孟文貝、龜甲、現
 灰、礪壳、灰等ナリ、其他尚多シ、玩物ハ、玩弄ノ活物ナ
 リ、狸犬、家狸、銀鼠、黃鶯、鴛鴦、嬰哥、加那里亞、白鶴、錦雞
 十姊妹、茶吉了、孔雀、鷹、鷂、金魚、銀魚、金琵琶、金鐘、兒
 等、其他甚多シ、此モ亦天地ノ人ヲシテ玩弄セシメ

六地
 三十三

以テ娛樂セシムルノ物ナリ、然レバ則之ヲ飼養シ、
之ヲ蕃息シテ、以テ國人ヲ樂マシメ、或ハ他邦ニ輸
シテ有無交易ノ料ト為モ、亦當ニ人君ノ天意ヲ奉
行スルノ一事タルベシ。

凡活物ノ長生スルヲ能ハザル者ハ、死スレバ則精魂
水土ニ依ル、年ヲ累ネテ長生スル者ハ、精魂昇テ薰園
ニ入ル、魂ノ水土ニ依ル者ハ、復水土ヨリ生シ、牝牡ノ
構精ヲ俟サルナリ、其薰園ニ入ル者ノ如キハ、父生母
鞠ノ功ニ頼ザレバ、則再々現世ニ出生スルヲ能ハズ、
夫土石、生植、活物ノ三種ハ、皆是、人類性命ヲ保シ、道德

ヲ脩ルノ養料ナリ、故ニ其功ヲ成得レハ、則漸化昇進
ス、是ヲ以テ最初土石ノ無魂ヨリシテ、而シテ草木ノ有
魂ニ趨オキキ、草木ノ無情ヨリシテ、而シテ活物ノ有情ニ趨
久、皆是漸化昇進ナリ、故ニ活物既ニ死メ、而シテ其魂薰
園ニ入ルヲ得ルニ至テハ、則漸化人類ト為ルニ庶ナ
幾カシ、所謂薰園中ニハ冥府アリテ、以テ萬魂ノ幽明ヲ
黜陟ス、熟オク犬馬ノ性ノ人ノ性ニ近キヲ視レバ、則其趣
モ亦以テ推察スルニ足レリ、嗚呼一沍ノ靈物分割メ、
而テ世界ト為リ、四資ノ神氣妙合メ、而シテ萬品ト為ル、
皆是皇祖天神ノ至誠、人神ヲ蕃息セムト欲スルノ所

為ニシテ、産靈ノ妙機ナリ、枯ル者ハ盡ルガ如クナレ
氏、種子永ク絶ザルナリ、死スル者ハ滅スルガ如クナ
レ氏、精魂會テ消セザルナリ、是以天地ヲ稱シテ無盡
藏トイフ、故ニ此ノ土石、草木、活物ノ人世ニ於ケル、或
ハ食物衣類トナリ、或ハ宮室器械ト為リ、或ハ刀鎗鍋
釜トナリ、或ハ甕瓶缸壘トナリ、或ハ玩好藥物トナリ、
或ハ重キヲ荷ヒ速キニ致ス、皆一日モ無カル可カラ
ザルノ要タリ、故ニ此三類既ニ備テ、而後ニ人民以テ
滋息スルヲ得ベシ、以上三類ノ耕植、及採取製煉ノ
法五十二種、別ニ行義アリ、而ノ之ヲ詳ニス、

鑄造論行義三編、予ガ近來著ス所ナリ、上編二十五
卷ハ、土石類十七種製造法ヲ論ズ、中編四十卷ハ生
植類二十種ヲ論ス、下編二十卷ハ活物類十五種ヲ
論ス、通計三類五十二種、九百八十九條、全部八十五
冊、即チ此ノ第五章一編ノ行義ナリ、

夫大地ハ、萬物資生ノ原醜ナリ、然リ而シテ、極南極北ノ
界ニ至リテハ、則造化ノ神機ヲ以スト、雖氏、奈何氏ス
ヘカラサル者アリ、何トナレバ、北赤道下ヲ距ル、七
十度以外ハ、秋分ヨリ春分ニ至ルマデ、常夜ニ異ナル
ヲ無シ、南距七十度外モ亦同シ、唯春ヨリ秋ニ至テ半

年昼、秋ヨリ春ニ至テ半年夜ナルヲ異ナリトス、是ノ故ニ海水悉ク凍リ、氷雪山ヲ作ス、寒氣ノ酷烈ナル論ナシ、是ヲ以テニ至規ノ内ハ、終古炎熱ニノ霜ノ降ルナク、草木昆虫四時蕃衍ス、ニ至規ヨリ兩極規ニ至リ、各半年ノ寒暑アリ、兩極規ノ下、各半年ノ晝夜アルナリ、赤道南北各四十五度ノ内ハ、物産極ノテ豐饒ニシ、兩極ノ下、各四十五度ノ間ハ、唯冰雪多キノミ、是ニ由リテ知ル可シ、萬物ノ化育、皆日輪發越ノ熾氣ヨリ出ルヲ、夫日輪ハ炎熱ノ太元^{タイケン}造化ノ基本也、故ニ位ヲ六合ノ中央ニ定メテ、而盤古移動無シ、蓋日輪ノ裏

内ハ即高天原ニシテ神聖ノ本居ナリ、太古皇祖天神之ヲ主トメ而シテ天命ヲ賦セリ、天地既ニ成ルニ及テ、天照大神、皇祖ノ天位ヲ承繼シ、大地ヨリ昇テ、而シテ之ニ帝タリ、

神代紀ヲ按スルニ、伊弉諾^{イサノ}ノ神、日向國橘ノ攄原^{トキハラ}ニ被禊^{ミソギ}シ玉ヒテ、而シテ天照大日^{アマテラス}要尊ナリマセリト云フ、信淵敬ンテ按スルニ、堂々タル天囿、豈神聖ノ尊キ者無シヤ、然ルニ大地ヨリ昇テ、而シテニ帝タルヲ視レバ、則知ル皇大神ノ德輝文明、六合ニ發越メ、而他ノ聖神ノ比スベキ所ニ非ルヲ、是ニ由テ之ヲ

觀レバ、則人者神ノ資本ナリ、若夫神ヲ以テ玉ニ喻ルニ、人ハ即是璞ニ、現世ハ猶砥礪ノ如シ、故ニ俛強メ、德行ヲ琢磨スル寸ハ、則光ヲ發スルヲ難カラザルナリ、夫人ヲノ各自ニ煉磨メ、以テ天神ト為ラシムルハ、皇祖天神ノ天地鑄造ノ大趣意ナリ、天照大神大地ニ生レテ、而ノ天上ニ帝タリ、以テ天意ヲ察ス可キナリ、凡上帝皇帝ト稱スル者、即天照大神ナリ、

親ヲ天上萬機ノ大政ヲ統治シ、豊受姫之神靈ヲ崇祭メ、而ノ農桑ノ業ヲ擴メ、博ク蒼生ヲ愛メ、扶持保育ノ至仁、届ラザル所無シ、生ヲ好ムノ靈德、六合ニ洋溢ス、皇祖天神モ亦八百萬神ヲ帥テ、以テ其神政ヲ補佐ス、是ニ於テヤ、日輪ノ光暉、赫々、明々、大地ヲ焜耀シ、品物ノ發育、人民ノ滋息スルヲ、太古ノ時ニ百倍ス、世界萬國蒼生ノ性命ハ、皆上帝ノ賜ヲ所ナリ、依戴セザル可ケムヤ、依戴セザル可ケムヤ、

右第五章

皇タル上帝、既ニ保食神ヲ天上ニ崇祀シ、申テ道主貴ニ命メ、地上ニ祭ラシム、是ニ於テヤ、草木活物、大ニ地上ニ蕃衍セリ、乃チ之ヲ人世ノ日用、及ヒ玩好遊樂ノ

需ニ賜給シ、而ノ備ラサル所アルナシ、凡人世日用ノ諸物、大抵皆豊受姫ノ遺骸ヨリ出ツ、故ニ天照大神ノ煦育擁護、豊受大神ノ衣食保養ハ、所謂天地ノ大父母ナリ、敬ンテ茲ニ其洪恩ノ大畧ヲ論スルニ、穀食蔬菓ノ芳羞ナル、鮮肉嘉魚ノ厚味ナル、新筍陳酒ノ醇良ナル、紗綾錦繡ノ輕煖ナル、綿綿虔布ノ清涼ナル、春英秋華ノ美艷ナル、白馬青牛ノ安乘ナル、奇南蘭麝ノ馥郁タル、時禽候鳥ノ好音アル、身體皮膚ノ觸ル、所耳目口鼻ノ感スル所、好妙ナラザル者アルナシ、矧ヤ、且男女合歡ノ愉快ト、兒孫翁和ノ湛樂トアルヤ、我

人皆斯賚ヲ受ク、仰テ以テ父母ニ事ヘ、俯テ以妻孥ヲ養ヒ、從容自適性命ヲ保護スル所以、皆是兩大神ノ維持保育ノ大徳ニ賴ル也、神恩懇到至レリ、盡セリ、欣戴敬禮セザル可ケムヤ、最初、皇祖天神ノ天地ヲ經始スルヤ、元是人ヲノ道ヲ脩メ、徳ヲ積ミ、以テ神聖ト為ラシメ、ムト欲スル也、故ニ萬物ヲ發育シ、人世ヲ豊饒ニシ、以テ道ヲ脩ムルニ便ス、然ルニ其業ヲ脩メズレテ、而ノ徒ニ其賚ヲ費ス片ハ、上天ノ震怒ナキヲ得ムヤ、予此念ヲ作ス、毎ニ慄焉トモ起テ、悚然トシテ骨驚ク、而レモ亦竊ニ怡ム所アル者ハ、上帝至仁、蒼生ヲ

愛矜ス、苟モ前非ヲ悔テ能改ル、氏ハ天赦モ亦速ナリ、
 若夫改勵ノ志ヲ發シ、而ノ覆載ノ恩ヲ謝セント欲セ
 バ、則事天ノ本業ヲ務ムベシ、所謂事天ノ業トハ、孝ヲ
 己ガ父母ニ盡ス是也、何トナレバ、天地ハ大父母ナリ、
 父母ハ小天地ナリ、其理既ニ第四章ニ論ズルガ如シ、
 天地ノ人類ヲ蕃息セムト欲スルガ故ニ生々ノ靈機
 ヲ揮發メ、乃父母ヲノ精ヲ構テ以胚胎セシム、是故ニ
 父ヤ天ニ代リテ而ノ我ヲ生ム者ナリ、母ヤ地ニ代リ
 テ而ノ我ヲ鞠フ者也、且夫父母ノ子ヲ育ツルヤ、胚胎
 ヲリ成長ニ至ルマテ、切苦ノ績之ヨリ大ナルハ莫シ

故ニ能ク己ガ父母ニ敬事スルハ、則天地ニ敬事スル
 ナリ、詩云、哀々ル父母、生テ我劬勞、父ヤ兮生シ我、母ヤ兮鞠シ我、拊レ我
 畜シ我、長シ我、育シ我、顧シ我、復シ我、出シ入シ腹ニ我、欲シ報ス之、德ヲ昊天罔極、
 詩ハ小雅蓼莪ノ篇、周ノ尹伯勞ガ賦スル所ナリ、此
 詩深ク胚胎ノ理ヲ詠シ得タリ、所謂父ヤ兮生シ我ハ、癸
 精ヲ云フ也、母ヤ兮鞠シ我ハ、卵育ヲ云フナリ、其理則第
 四章既ニ詳ニス、
 孝經曰、孝、德之本也、教之所繇ヨリ生ス也、身軀髮膚受テ之、父母
 不敢毀傷、孝之始也、立身行道、揚テ名ヲ於後世、以顯ス父母之
 終也、夫人ノ子ヲ産スルハ、皆上帝ノ託スル所ナリ、

天地

豈其人カノ所為ナラムヤ故ニ父母全ノ之ヲ生ミ子
 全ノ之ヲ歸ス即是常理ナリ昔者曾子有疾召門弟子
 曰シテ啟子足シテ啟子手シテ詩云戰々兢々如臨深淵如履薄氷而
 今シテ而後吾知免夫小子此豈曾子翅ニ其全ヲ示スノミ
 ナラムヤ更ニ弟子ヲシテ毀傷セガラシムト欲ス
 ルナリ何トナレバ天地ノ我ニ與フル所以ノ者一善
 ノ備ラガルハ無シ故ニ能ク其受ル所ヲ毀傷セズ而
 ノ全ク之ヲ歸ス片ハ不敬ノ罪ヲ免ル故ニ能ク父母
 ニ事ル者ハ恭敬自愛上ニ居テ驕ラズ下トシテ犯サ
 ズ己ヲ謙リテ人ニ讓ル敢テ競争セズ是ヲ以テ恒ニ

美譽アリテ而ノ凶禍ノ災無シ然氏亦大人ノ孝小人
 ノ孝及臨時ノ宜キ有リテ而ノ其身ヲ自愛スルニ止
 ラザルナリ大道ヲ講明シ蒼生ヲ教化シ天下ノ人ヲ
 ノ敬愛以テ其父母ニ事ツリ忠順以テ其長上ニ事ツ
 リ國家隆盛ニノ萬物皆其處ヲ得セシムルハ是大人
 ノ孝也政教ヲ謹守シ自奉ヲ節儉ニシ親族和睦ヒ鄉
 黨相睦以テ其父母ヲ敬愛スル是小人ノ孝也君父ノ
 為ニ侮ヲ禦キ勇戰以テ其冠ヲ敗ル是變ニ應スルノ
 孝也是故ニ鑄造ノ真理ヲ講スル片ハ天地ノ神意以
 テ知ル可キナリ事天ノ政教ヲ施ス片ハ本性ノ仁義

以テ進ム可キナリ、苟モ天意ヲ奉行スル片ハ、徳政乃
 舉ル、仁義ニ勇進スル寸ハ、功業乃立ツ、此レ教化ノ勗
 ノズバアルベカラザル所以ナリ、所謂事天ノ政教ハ、
 即是大人ノ孝ナリ、其事第十章ニ詳ナリ、夫臣子タル
 者ハ、忠順孝敬、自持シ敢テ專ニスルヲ能ハザル、固ヨ
 リ論ナキナリ、然ルニ人ノ急ヲ救フハ、事天ノ最モ大
 ナル者ナリ、務テ君父ヲ勸メテ、當ニ濟救スベシ、況ヤ
 臣子タラザル者ニ於テヤ、何トナレバ人ノ進退維
 谷ルニ方リテハ、心焉ニ在ラズ、輒々妄動瞑行ス、故ニ
 或ハ罪惡ヲ犯シ、或ハ性命ヲ傷フ、皆是眉急ノ時ナリ、

夫人ハ皇祖天神ノ愛矜スル所、上帝ノ煦育スル所也、
 然ルニ之ヲメ、或ハ貧ニ苦シミ心ヲ失ヒ、或ハ非義ヲ
 行ヒ、或ハ非命ニ厥身ヲ隕サシムルキハ、上天ノ神意
 ヲ奈何セムヤ、是ノ故ニ事天ノ業ハ、人ノ艱難ヲ救ヒ、
 人ノ過失ヲ補フ皆大功ナリ、且夫人之行ヲカルヤ、已
 ガ欲セザル所ヲバ、以テ人ニ施スコトナケレバ、則其
 過寡シ、然リ而人明哲ノ士ニ非ルヨリハ、人誰カ過ナ
 ナカラム、唯能改ルヲ尚フ、奮惡大ナリト雖、能改ム
 ル者ハ必天赦アリ、若夫一箇ノ妄想ヲ發シ、奮惡既ニ
 多シ、今ニ至ラ改勵ストモ、及フ可カラズト謂テ、愈惡

業ヲ增長ズル之ヲ名ケテ瞑頑ト云フ瞑頑ナル者ハ
 必天罰ヲ受ク或ハ惡戾行ハザル如シトイヘテ而モ
 貨殖ニ竭蹶シ顔ニ財利ヲ貪リ持己ガ家ノ富有ヲ榮
 トメ他人ノ窮急ヲ顧ミザル之ヲ名ケテ貪^シ辨^ト云フ
 貪辨ナル者モ亦必天罰ヲ受ク夫學ノ講ゼザル教ノ
 勤ザルヨリメ世人天罰ノ畏ルベキヲ知ラズ亡頼懦
 弱ニメ仁義ニ勇進スルヲ能ハズ以テ瞑頑貪辨ノ民
 タルヲ致ス慙^マザル可ケムヤ夫穀物衣類金銀貨財
 皆是天地ノ蒼生ヲ養育スルノ料ニメ常主アル者ニ
 非ルナリ請見ヨ富人ノ死ヌル者其金銀貨財ヲ提^テ擲^ク

シテ而ノ將チ去ル者アリヤ否ヤ豈其金銀貨財ノミ
 ナラムヤ己カ身軀トイヘテ將チ去ルヲ能ハザルナ
 リ既ニ第四章ニ論スルガ如ク形軀ハ大地ノ蒸出ス
 ル所也凡大地ヨリ出タル者ハ復必大地ニ歸ル夫入
 類ノ世ニ生ルメヤ天ニ得ル者ハ魂ナリ地ニ得ル者
 ハ魄ナリ故ニ其人死スルニ及テハ則軀魄腐朽メ水
 土ニ歸ル唯其靈魂ハ昇テ幽冥ニ入ル現世ノ形軀ハ
 悉ク大地ニ歸ル而ルヲ況ンヤ身外ノ物ニ於テヲヤ
 故ニ現世ニ豪富ト稱スル者ハ僅ニ少頃ノ間ノ假主
 ニメ其實ハ夢中ノ妄樂ナリ就テ而メ悟ル可シ貨財

萬物悉く皇祖天神ノ蒼生ヲ滋息スルノ養育ノ料為ルヲ

現世ハ一長夢富貴貧賤汲滅スルヲ勿レ唯其勉強スベキ所ノ者ハ事天ノ本業ノミ何トナレバ華顯赫灼トノ氣縮世ヲ掩フニ而モ命期ノ已ニ竭ルニ及テハ則身軀悉く腐朽シ盛業モ亦烏有ス在世中ニ威ヲ逞クシ欲ヲ縱ニシ驕慢饕餮ノ罪業ヲ遺レ伶俜タル孤魂永ク冥獄ノ阿噴ニ困ムノミ畏レザル可ケムヤ故ニ事天ノ功業ヲ立ント欲スル者ハ或ハ家産ヲ分折シ以テ郷黨ノ窮乏ヲ救ヒ或ハ山

澤ヲ開拓シテ以テ國土ノ物産ヲ饒ニス皆是照々保育ノ洪恩ニ答ル者也夫己ガ家産ヲ破リテ國ヲ利シ人ヲ救フ其費ス所廣大ニシ漸禱タルカ如シ然レ氏是天地ノ正道ニシ而シテ神祇ノ愛敬スル所ナリ故ニ之ヲ名ケテ實福トイフ其損消ヲ名ケテ之ヲ實トイフ所以ノ者ハ功德悠久滅セズレテ當ニ神位ニ昇ルベキノ真福ヲイフナリ又現世ノ貨殖ヲ務ル者ハ至心己カ家ヲ利セント欲ム而シテ人ノ艱苦ヲ顧ミザル也是ヲ以テ或ハ一時富盛ヲ致スルアル氏而シテ私欲ノ虐事ニシテ神祇ノ嫉怒スル

所ナリ、故ニ之ヲ名ケテ虚福トイフ、其盛満ヲ名ケ
テ、之ヲ虚トイフ所以ノ者ハ、在世姑少ノ驕豫ニ、
當ニ冥罰ヲ受ヘキノ偽福ヲイフ也、孔子曰、不義而
富且貴、於我如浮雲、即是ナリ、且其浮雲ノ偽福之ヲ
子孫ニ遺サムト欲スト雖凡皇祖天神之ヲ祚スル
ニ非ルヨリハ、焉ンソ能永ク之ヲ有スルヲ得ム
ヤ、若夫天神之ヲ祚スルヲアラバ、則之ヲ遺スト無
シト雖凡子孫豈富ムトナカラムヤ、懼レザルヘケ
ニヤ、慎マサルヘケンヤ、

然ルニ貪弊ナル者ハ、私欲ヲ逞クシ、而ノ畜積ヲ務メ

漸ク以テ他ノ産ヲ併セ、貧者ヲノ愈貧ニ困シ、或ハ非
義ヲ行ヒ、或ハ赤子ヲ賊害シ、或ハ老羸ハ溝壑ニ轉シ、
或ハ壯者ハ他邦ニ行キ、郷黨隣里人無キニ至ラン、
故ニ天災ニ非スレテ、民ヲノ飢餓流亡ノ禍ニ罹ラレ
ムル者ハ、貪弊ノ民ナリ、其罪亦大ナラズヤ、
貪弊者ノ毒ヲ國家ニ流スト、甚キカナ、是ヲ以テ國
勢衰耗、戸口減少、荒蕪年ニ加フルヲアリ、夫貧富均
カラズ、殺節法無ケレバ、治ヲ言ハムト欲スト雖モ
得ベケムヤ、舉世富人ヲ尊敬ノ、而小民ノ流離ヲ顧
ザルアリ、此レ貪弊者ノ益志ヲ得テ、而淳厚家ノ益

迫窮スル所以ナリ、

此皇祖天神ノ震怒スル所以也、天監下ニ在リトハ即冥府ノ謂ナリ、夫幽冥大神ニ八百萬ノ神兵アリ、巡按本把森然林ノ如シ、審ニ在世間ノ罪惡ヲ悵目シ、壽量ノ將ニ終ラムトスルニ臨テ、其靈魂ヲ徵攝ノ之ヲ冥獄ニ禁固シ、引合鈎據以テ其服ヲ取り、明カニ條制ニ照シ、乃チ天罰ヲ行フ、禁錮呵嘖ノ年限ハ、各犯由ニ因リテ自ラ長短アリ、其罪ノ極テ重キニ至テハ、則チ千歳ヲ經テ而シテ尚脱セザル者アリ、凡此條制ハ、天造ノ草昧ニ、皇祖天神ノ定ムル所ニシテ、而シテ終古冥府ノ奉持

スル所ナリ、而シテ罪人モ其罪既ニ畢レバ、則チ又諸種ノ鬼形ヲ受ク、其鬼形ヲ受ル所以モ亦現世間ニ在テ、自己ノ造ル所ノ冥報ニシテ、而シテ皆宿業ノ感スル所也、是ヲ以テ鬼形ハ必ス各其摠念スル所ノ類ニ從フ者ナリ、

釋氏ノ輪回ヲ説クヤ、華嚴、阿含、正法念、法華等ノ諸經、及俱舍、婆沙等諸論、共ニ精微ヲ尽セル者也、而シテ其諸經論ノ中、卓爾トシテ傑出セル者ハ、則チ首楞嚴經ナリ、其宿業ノ因縁ヲ説クヤ、頗鎔造ノ神意ニ符スルヲアリテ、神魯岐ノ天條、大國魂ノ冥律ト雖、氏以

テ加フル無キニ庶幾シ、故ニ予取テ以テ、大冥律講
義ヲ作レリ、蓋此首楞嚴經ノ所論ハ、當ニ是印度開
闢來ノ古傳説ナルベシ、神世ノ古説、皇國ニ傳ラズ
シテ、印度ニ傳ハル者、往々コレアリ、是印度ハ、我が
少彦名ノ神ノ造ル所ナルガ故ナリ、彼ノ神ノ印度
ヲ造ル明証ハ詳ニ、氣吹屋翁ノ印度藏志ニ見エタ
リ、然リ而ノ釋氏ノ説ハ妙論多シトイヘ、凡、謬妄モ
亦少カラズ、所以金玉糞土ニ混スル者ニ、之ヲ洗
濯スルニ非サルトキハ、用ヲ為サザルナリ、故ニ其
天神モ報盡クレバ、還來テ復散ノ諸趣ニ入ルトイ

フカ如キニ至リテハ、其臭穢糞汁ヨリモ甚シ、大ニ
産靈ノ神理ニ背ク者ナリ、佛書ヲ見ル者察セザル
ベケムヤ、

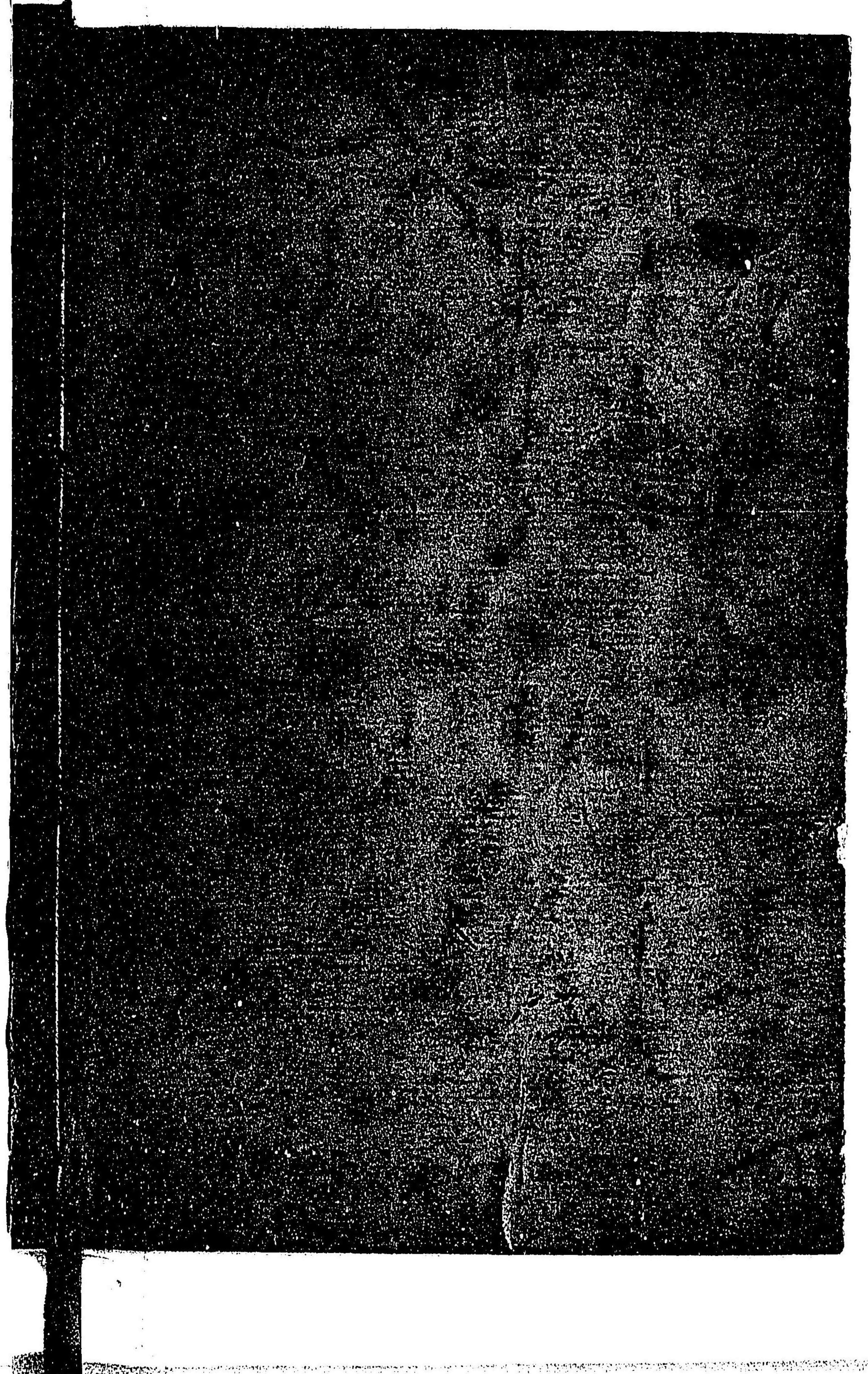
世ニ餓鬼窮鬼ト呼フ者ハ、大半貪捰者ノ靈魂ナリ、所
謂餓鬼ハ、假令孝子孝孫アリテ、祭ルニ珍膳美羞ヲ以
テスルモ、而モ隨逐ノ鬼卒アリテ、奪テ與ヘズ、永ク飢
渴ノ困苦ヲ受シム、皆是現世ニ在ル時、一向己カ家ヲ
利セント欲メ、而ノ人ノ艱難ヲ顧ヤルノ報ナリ、又貪
捰者ハ、居恒ニ己カ家ノ富盛ニ傲テ、而シ他家ノ貧窮
ヲ祈ルノ念アル者ナリ、故ニ此ノ窮鬼ト為リテ、而シ

天地

尚人ヲシテ困窮セシム、皆是類ヲ以テ感應スル者ナリ、且此窮鬼ハ、極テ嫉ム可キノ鬼ナルヲ以テ、諸神往復途ニ窮鬼ヲ見ル寸ハ必之ヲ鞭撻シ、痛帶ヲ極テ去ル、此其常規也、凡諸鬼類モ、報盡キ、形銷スレバ、復現世ニ投生ス、其善惡報應ノ理ハ、大冥律之ヲ詳ニス、

右第六章

天地鑄造化育論中卷終



157
158
159

和	香	門
類	香	門
架	香	門
號	香	門
冊	香	門